

政府は13日、今春をメドに指定する「地方創生特区」で、無人飛行機や自動走行車など最先端技術の実証実験を行う方針を明らかにした。15日に有識者らによる検討会の初会合を開き、具体的な実験内容と規制緩和策について議論し、特区指定を希望する自治体を公募するとしている。

地方創生特区は、規制緩和で

自動走行車 特区で実験

地方の新規産業や雇用創出を目指す新たな特区。自動走行車の公道での走行実験や、無人飛行機による荷物の配送実験、インターネットを通じた遠隔医療による在宅診療などを想定している。これらの最先端技術の実用

へ公募自治体

化が進めば、離島や過疎地での生活の利便性向上や特区での企業集積につながると見ている。

石破地方創生相は13日の記者会見で、「遠隔地のハンデを克服する技術活用で人口増をもたらしたい」と期待感を示した。